

四国事業所 / 石油精製設備

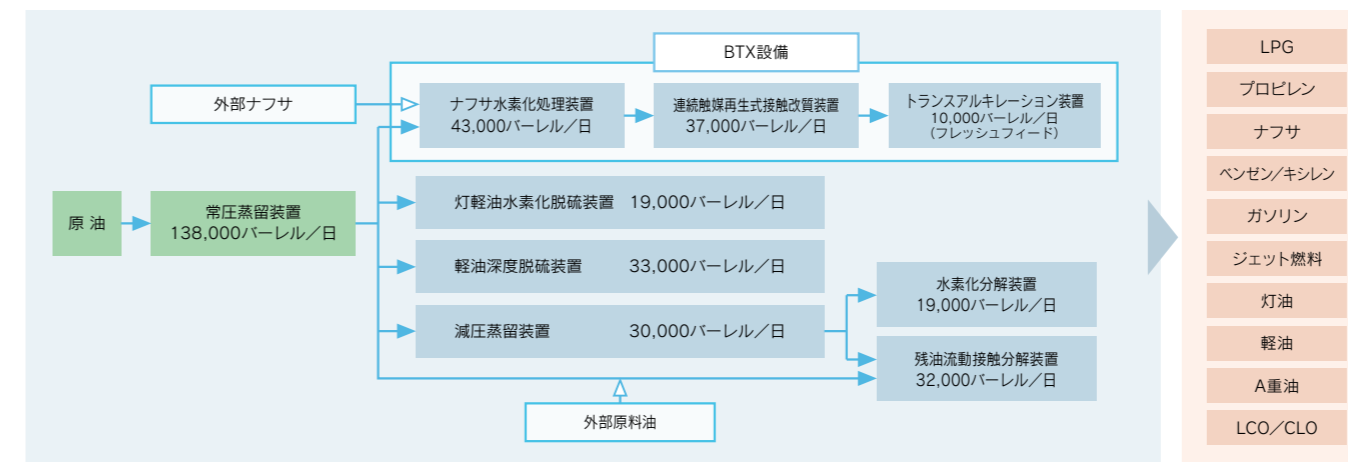


安全を最優先に、多様な石油ニーズに応えます。

総合エネルギー企業としての役割と、石油製品・石油化学製品の多様なニーズに対応し、安全かつ安定的な操業でお客様の期待に応えます。

【愛媛県今治市】

精製概略フロー



四国事業所 精製・製造能力

タンク基数及び貯油能力		
原油タンク	9基	638,406kℓ
製品・半製品タンク (内石化用製品タンク)	69基 (5基)	526,698kℓ (42,333kℓ)
スロップタンク	4基	18,691kℓ
自家燃料タンク	3基	2,150kℓ
LPGタンク	12基	10,784t
溶融硫黄タンク	2基	2,340,000kg
		1,185,945kℓ
合計	99基	10,784t
		2,340,000kg

精製能力 138,000バレル(21,942kℓ)/日		
第一常圧蒸留装置	1基	106,000バレル(16,854kℓ)/日
第二常圧蒸留装置	1基	32,000バレル(5,088kℓ)/日
減圧蒸留装置	1基	30,000バレル(4,770kℓ)/日
水素化分解装置	1基	19,000バレル(3,021kℓ)/日
水素回収装置	1基	1,036,800Nm ³ /日
灯軽油水素化脱硫装置	1基	19,000バレル(3,021kℓ)/日
軽油深度脱硫装置	1基	33,000バレル(5,247kℓ)/日

BTX設備		
ナフサ水素化処理装置	1基	43,000バレル(6,837kℓ)/日
連続触媒再生式接触改質装置	1基	37,000バレル(5,883kℓ)/日 (内石油化学用 19,000バレル/日)
芳香族蒸留装置	1基	34,500バレル(5,486kℓ)/日
芳香族抽出装置	1基	11,000バレル(1,749kℓ)/日
水素回収装置	1基	2,054,400Nm ³ /日
トランスアルキレーション装置	1基	10,000バレル(1,590kℓ)/日 (フレッシュフィード)
第二芳香族蒸留装置	1基	19,000バレル(3,021kℓ)/日

RFCC設備		
残油流動接触分解装置	1基	32,000バレル(5,088kℓ)/日
プロピレン精製装置	1基	6,500バレル(1,034kℓ)/日
アルキレーション装置	1基	7,200バレル(1,145kℓ)/日
分解ガソリン脱硫装置	1基	17,000バレル(2,703kℓ)/日



常圧蒸留装置
原油を蒸留し、LPG・ナフサ・灯油・軽油・残渣油の各留分に分離します。



水素化分解装置
減圧蒸留装置で残渣油から分離された減圧軽油を、水素ガスと混合し、高温高圧雰囲気中で触媒と反応させ、高品質のナフサ・灯油・軽油を製造します。



残油流動接触分解装置
原料である重油を高温低圧雰囲気中で触媒と接触させることで分解し、プロピレン・LPG・ガソリン留分を製造します。



BTX設備
原料であるナフサに水素化処理や接触改質処理を行い、得られた改質油を蒸留、抽出、トランスアルキル化することで、ベンゼン・キシレンを製造します。